

令和5年宇治田原町全員協議会

令和5年9月4日

午前11時13分開議

議 事 日 程

- 日程第1 総務建設常任委員会視察研修委員長報告
- 日程第2 文教厚生常任委員会視察研修委員長報告
- 日程第3 城南衛生管理組合議会議員報告
- 日程第4 京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告
- 日程第5 京都地方税機構議会議員報告
- 日程第6 その他

1. 出席議員

議 長	12番	浅 田 晃 弘	議 員
副議長	1 番	山 内 実 貴 子	議 員
	2 番	榎 木 憲 法	議 員
	3 番	馬 場 哉	議 員
	4 番	森 山 高 広	議 員
	5 番	山 本 精	議 員
	6 番	宇佐美 ま り	議 員
	7 番	藤 本 英 樹	議 員
	8 番	今 西 利 行	議 員
	9 番	上 野 雅 央	議 員
	10番	原 田 周 一	議 員

1. 欠席議員 なし

1. 宇治田原町議会全員協議会規程第5条の規定により会議事件の説明のため出席を求め
るものは次のとおりである。

町	長	西 谷 信 夫 君
副 町	長	山 下 康 之 君
教 育	長	奥 村 博 巳 君

総務担当理事 奥谷 明君
企画財政課長 中地 智之君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局長 矢野里志君
庶務係長 重富康宏君

開 会 午前11時13分

○議長（浅田晃弘） それでは、休憩前に引き続き大変ご苦労さまでございます。

会議を開催いたします。

会議は、お手元に配付しております会議日程により進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

日程第1、「総務建設常任委員会視察研修委員長報告」。原田総務建設常任委員長。

○総務建設常任委員長（原田周一） それでは、私のほうから総務建設常任委員会視察研修報告を行いたいと思います。

この総務建設常任委員会の視察に関しましては、既にこの8月1日の議会だよりで副委員長の宇佐美議員がまとめていただいて、うまく報告されておりますので、既にご覧おきいただいていることだと思います。

総務建設常任委員会では、去る7月6日、7日の両日にわたりまして、高知県の佐川町、それから徳島県の神山町、この二か所で視察を行いました。

高知県の佐川町では、自伐型林業ということで、ここは大体面積の七、八割が山、山林であるということで、非常に宇治田原町に似た地形になっております。

それで、余談なんですけど、現在、NHKで朝ドラ放送されております。これ、私、知らなかったんですけども、「らんまん」のモデルになった牧野富太郎氏、何かテレビでは万太郎言うらしいですけども、牧野氏の出生地でもあるということでございます。

自伐型林業ということで、これは戦後、全国の山に植林された杉やヒノキ、これが50年、60年たちまして、ちょうどその伐採の時期を迎えております。しかし、木材価格の低迷とか、そういうようなことで全国で放置されていると問題になっています。これを何とかせんといかんということで、この自伐型林業、今まで大体林業というのは、大型の機械を導入して、かなり大規模な伐採いうんですか、そういうことをやっていたんですけども、これはもうほとんど個人に近い形で事業を起こしていく。それを約10年近く前から地域おこし協力隊、これを毎年募集しまして、この10年間で39名雇用したそうですけれども、交付税を使ってやっているとのことでした。

この地域おこし協力隊は、大体任期が3年間なんですけど、その3年間はこういう交付税で何とか人件費等、補填っていうんですか、いうことはできるんですけども、なかなかそれだけでは食べていけないということで、協力隊は週4日間、研修とかそういうことで事業に従事して、それで残りの3日間はフリーで、アルバイトなんかで生活をしているということです。特に、木工の加工とか、それから高所作業とか、そういったよう

な作業をして、日当を稼いでいるというようなお話でございました。

この3年間の間に、林業大学とか、町実施の研修会に参加して、林業従事者として必要な資格を取得するというようなこととございます。

本町の議会だよりの研修報告にも書かれていたんですが、地域おこし協力隊は39名、うち6名は現在まだ研修中で、修了者が26名、うち23名が町内に定住している。また、林業の従事者は16名である。そういったことで、かなり定着率もいいんじゃないかというようなことでございます。

それと、これは特に町内に集積場がありこれが大変大きな本町と違うところであるんじゃないかと思えます。

そこの所感のところにもちよっと書かせていただいているんですが、町内には森林組合がなく、町外の森林組合が近隣3町を集約管理しているということで、大体年に20%ぐらいの間伐整備をして、10年後にまた全、これ、全伐^{ぜんぱつ}いうんですかね。皆伐^{かいぱつ}できるようにしている。

それから、また間伐した材木についても、道をつけなければならないということで、その林道をつけるのに、作業道を基本として、メーター2,000円の補助金等も用意されておるといふことと、もう一つは、役場のほうでいろいろな小型の機械、軽トラック含めて、それを用意して、それを個人にリースしているということで、非常に林業にいつでも従事できるような状態で生活基盤を支えているというようなことでございました。

ただ、最後に書いているんですが、所有者が管理なんかの問題で、これはもう全国的なまんだと思うんですけれども、山林の寄附の申出が多いということで、やはり同じように、放置林^{ほうちりん}いうんですか。放置の森林がやっぱりあるということとございます。

高知県のほうについては、この自伐型林業^{じぱつがたりんぎょう}いうのは、これ、全国でも発祥の地^{はつしょうのち}いうんですか、ということで、今現在、それが全国に広がっているというようなことで、ここに訪問して、勉強させていただいたということとございます。

それから、次に、2つ目に訪問しましたのが徳島県の神山町で、ここは実は人口が昭和35年に1万8,500、「総務建設常任委員会視察研修報告」の3ページに書かれているんですが、1万8,503人から、平成27年には5,300人、55年間で7割以上人口減少があったそうです。平均すると、毎年240人ずつの人が、住民が減っていったということとございます。

それで、ここはですね、1つ大きく注目されるようになったのは、2ページ目の最後に書かれているんですが、平成16年に光ファイバー網の高速インターネット環境が充実

したと。これはテレビがアナログ放送からデジタル放送に変換されるということで、神山町は、山の中の町でございますんで、電波の受信が困難になりテレビが見れない地域が多く発表する模様でした。それで、このときの国の補助金を使って、町中にこの光ファイバーを引っ張ったということでございます。

それで、その後、空き家が多いんですけども、そういったところに全国から、今ご存じのように、インターネットの回線さえあればどこでも起業ができるということで、注目されて、そこで事業を起こして、いろいろなことで若い人が移住してきたというようなところでもあります。

それから、またその後、「まるごと高専」って、高等専門学校なので5年制なんですけど、これをつくられています。今年の4月が開校なんですけど、これも移住された方が中心になって、町役場と一緒にやってるんですけど、実質、これ、私立の高専ですんで、一応寄附金を集めて、現在、はっきり金額は確認できなかったんですけども、たしか100億円ぐらい、ネットなんかで調べますと、集まっているそうです。その運用資金でもって、全学年学費が無償やと。それで人材育成をして、その寄附した会社なんか就職したり、あるいは町で起業ですね、自分で起こす、そういうような事業をされているとのことでございます。

大変活気のある町でした。特に、先ほど言いましたように、人口がもう一時期の4分の1ぐらいまで減ったにもかかわらず、今、やはり町外から移住・定住された方、そういった人と、それから町の役場の職員、それから地元の間人、昔からおる。そういった人との協働の会議体なんかで町おこし等のプランをつくってやられているということで、非常に注目されるような場所であったなという具合に思います。

簡単ですが、以上でございます。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。藤本議員。

○議員（藤本英樹） 委員長報告に質問とかそんなじゃないですけども、私の感じた所感なんですけれども、佐川町のほうですけども、先ほどの委員長の報告にもありましたけれども、朝ドラの「らんまん」の主人公、日本植物分類学の父、牧野富太郎の出身地ということで、庁舎の前に本庁舎と同じようにポストが設置されているんです。そのポストが植物のラッピングをされて、緑色のポストになっているんです。緑でしたでしょう。緑に絵を描いていたというふうな感じで、宇治田原も、もし可能やったら、お茶の町いうことをアピールするためにも、お茶畑に茶ッピーを入れたイラストなどをラッピングして、庁舎前のポストに設置したら、かなりのアピールになるんじゃないかな

というふうに感じました。

あと、後で調べたんですけれども、JR宇治駅の前のポストも、茶つぼ型にされていたり、全国でも多くのラッピングポストというのが存在しているようなので、ぜひ郵便局と相談して、お茶の町をもっとアピールしてもらえたらというふうに感じました。

以上です。

○議長（浅田晃弘） ほかに何かございませんか。

（発言する者なし）

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第2、「文教厚生常任委員会視察研修委員長報告」をお願いします。馬場文教厚生常任委員長。

○文教厚生常任委員長（馬場 哉） それでは、文教厚生常任委員会視察研修報告を行います。

文教厚生常任委員会では、去る7月12日と13日、2日間におきまして、岡山県美咲町に第2次保健福祉総合計画の評価と第3次計画策定への取組について、岡山県和気町には英語教育の推進について視察を実施いたしました。

岡山県美咲町ですけれども、美咲町役場で青野町長をはじめ、松島議長、それから各課の職員さんにも対応をしていただきました。

岡山県のほぼ中央に位置する美咲町は、卵かけ御飯の発祥地としてPRをされており、田園風景が広がる自然豊かなのどかな町でありました。

青野町長、松島議長の歓迎を受け、挨拶を頂戴した後、少子高齢化や核家族化の進行により、どこの市町村でもそうやと思うんですけれども、様々な場面で支援を必要とされている人が増えている中、健康及び福祉施策や自治体が持つ各種計画・連携の必要性和、前保健福祉計画の評価を踏まえて、次期計画への策定プロセスについての説明を受けました。

社会福祉政策の推進においては、社会福祉協議会と行政の連携が非常に重要になってくるんですけれども、美咲町は平成17年に3町が合併をされており、法人の規模は本町とはかなり違いがありました。しかしながら、福祉施策を行っていく上で、様々な事業所等との計画の連動性・協力関係は今後も必要不可欠であることを認識をいたしました。

また、美咲町は住民のつながりが強固で、福祉施策、また介護施策においても、地域マンパワーの重要性、未来を見据えた人材確保も地域福祉の推進において非常に重要であることが理解できました。

視察研修も、私も何年かぶりに参加させてもらいましたし、初めて議員になられた

方々も、初めての経験やったと思うんですけども、一番始めの美咲町、各委員さんとも様々な活発な意見を頂戴いたしまして、いい意見交換ができたというふうに考えております。

また、美咲町は、議会の活性化が非常に進んでおられまして、第17回マニフェスト大賞で躍進賞を受賞されるほど美咲町の議会については活発に議会活性化について取組をされておりました。

また、委員会等々でも、職員さんも含めて、資料はもうペーパーレスになられておられて、全てタブレットで対応されているということに、非常にこれが便利なので、ぜひとも宇治田原町でもやってくださいというふうに言われたという、そういう点も勉強になりました。

続きまして、岡山県和気町です。

英語教育の推進について視察を行いました。

和気町役場において、太田町長、また当瀬議長の歓迎を受けました。

岡山県の東南部に位置する和気町は、人口1万4,000人の小さな町ではありましたが、鉄道、道路等の交通アクセスが非常に便利なところで、町外からの移住も増加傾向にあるということをおっしゃっておりました。

英語教育の推進により、グローバルな人材を地域で育てるという施策として、文部科学省より町内全ての小・中学校に対して独自カリキュラムを導入できる特別校指定を受けた過程の説明を教育部局の担当者から説明を受けました。

地方創生はどこでも取り組んでいるんですけども、この和気町さんは、取組として、まず最初に住民アンケートをされ、この住民アンケートの結果を踏まえて、教育や保育の環境充実を掲げ、英語教育を前面に、オーストラリア等との国際交流をはじめ、町を挙げてグローバル人材の育成に着眼をされ、教育現場での英語教育推進に取り組んでおられることに感銘を受けました。

また、公営塾の取組についても、子どもたちの居場所づくりの観点、講師に地域の大学生たちを取り込むことにより、人材の循環についても成果が出ているということで、とてもすばらしい先進的な取組だと感じたところでございます。

2日間において視察を行いました、皆さんから非常に活発な意見を出していただいて、充実した視察研修が行えたというふうに感じております。

以上です。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

(発言する者なし)

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第3、「城南衛生管理組合議会議員報告」をよろしくお願ひいたします。宇佐美議員。

○議員（宇佐美まり） 城南衛生管理組合議会議員報告をいたします。

令和5年3月17日、議会運営委員会、出席、宇佐美まり。

3月28日、再開日、出席、原田周一議員、宇佐美まり。議案第8号から第15号の8議案について、可決・同意されました。また、議会議案第1号、議会個人情報の保護に関する条例も可決されたところでございます。

5月29日、市町議会代表者会議、出席、宇佐美まり。

6月5日、臨時会、出席、原田周一議員、宇佐美まり。6月5日の臨時会は、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町の一般選挙後の最初の議会であり、正副議長が欠員となっていたため、指名推選により宇治市の稲吉議員が議長に、八幡市の福田議員が副議長に就任され、続いて議会運営委員会の委員の選任と常任委員会委員の選任が行われ、その後、2議案について可決・同意されました。

以上、城南衛生管理組合議会報告を終わります。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

馬場議員。

○議員（馬場 哉） 新事務所棟建設というふうに議案が出ていまして、私も城南衛生管理組合行ってたんで、大体の流れ分かっているんですけども、その新事務所棟というのは新庁舎のことなんですかね。大体めどというのか、その計画はどういうふうに進んでいるのかなというふうに思ったので、少し報告をお願いします。

○議長（浅田晃弘） 宇佐美議員。

○議員（宇佐美まり） 城南衛生管理組合新庁舎基本計画の事業計画によりますと、供用開始は令和6年度となっております。しかし、他の事業との関係や備品の購入、引っ越しのこともありまして、さらに時間を要するという事となっております。

また、建設業者の選定につきましても、企画提案型のプロポーザル方式を取っており、価格により選定する入札方法よりも、時間がかかっているのが現状です。

他の事業の影響につきましては、このコロナ禍の中、取り組んできた沢中継施設の建設や、現在取り組んでいるクリーン21長谷山基幹的設備改良工事に関する事業が関係していると思われまます。

以上です。

(「新庁舎はこういうふうな感じ」と呼ぶ者あり)

○議長(浅田晃弘) 馬場議員。

○議員(馬場 哉) 新庁舎の建設時期は、大体いつ頃が確定していて、それに対しての本町での影響みたいなどこら辺も少し、説明があったのならば。

○議長(浅田晃弘) 原田議員。

○議員(原田周一) 私も城南衛生管理組合議会に宇佐美議員と一緒にっております。ただいまから新庁舎完成イメージ図を回覧させていただきます。それから、上のほうが8月現在の工事の進捗状況の写真です。これはホームページなんかにも出ていますけれども、ちょっと回していただいたら。

今、宇佐美議員からも報告があったんですけども、一応これ、プロポーザルで入札をしたんですけども、最初、不調に終わったということがあります。

令和4年に入札をしたんですけども、一応本体工事、本体、建物ですね。それから、電気、それから機械、この3つに分けて、これはやはり地元なんか含めて、事業者の受注機会を多くすると。一括で初め予定されていたんですけども。そういうことで、工事を3分割にしてやったと。だけれども、ご存じのように、資材の高騰、そういうのがあって、不落札というようなことがあったんですけども、その後、いろいろ調整されて、一応入札をやったときに、全部、3つとも落札されたということで、業者が決まった。

それで、開所の時期ということなんですけれども、一応本体の建物工事は、一応今、聞いている範囲では、来年の3月に一応完成ということで、工期はその予定どおりということで聞いています。

あと、電気等、そういうような附帯の設備、いろいろあると思うんですけども、ですんで、その後になりますんで、恐らく来年の6月、7月頃に入所というようなことじゃないかと。

詳しくは、またこの月末から新しく議会、衛管の議会始まりますんで、その中の委員会なり、本会議なんかで報告はあると思います。

今お知らせできるのは、今の段階ではそういうようなところでございます。

以上です。

○議長(浅田晃弘) よろしいですか。

○議員(馬場 哉) はい。

○議長(浅田晃弘) ほかにございませんか。

(発言する者なし)

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、次に、日程第4、「京都府後期高齢者医療広域連合議会議員報告」をお願いいたします。榎木議員。

○議員（榎木憲法） それでは、令和5年8月25日に京都府後期高齢者医療広域連合議会令和5年第2回定例会が、会期を1日として開会しました。

議決結果については、下記のとおりです。

丸印の順で報告いたします。

広域連合長提出議案としまして、同意第2号、第3号、第4号が議案提出され、いずれも同意されました。

引き続き、議案第9号、第10号につきましても可決となりました。

認定第1号、第2号につきましても認定されました。

承認第2号につきましても承認されました。

請願につきましては、第3号、第4号が出されましたが、いずれも不採択となりました。

以上です。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（浅田晃弘） ないようですので、次に、日程第5、「京都地方税機構議会議員報告」をお願いいたします。山内議員。

○議員（山内実貴子） それでは、京都地方税機構議会議員報告を行います。

令和5年7月12日に京都府職員福利厚生センターにて監査委員として出席させていただきましたが、令和5年度決算審査等がありました。

また、8月7日には、京都ガーデンパレスにて全員協議会、その後、8月の定例会が行われました。

諸報告としましては、この4月の地方選によって新たに議会の議員になられた方の紹介と、また再選出された議員の紹介がありました。

議長選挙もありまして、府会議員の荒巻隆三議員が再選されました。

また、副議長には、城陽の上原敏議員が選出されております。

議案としましては、第1号議案として、令和4年度京都地方税機構一般会計歳入歳出決算を認定に付する件ということで、歳入総額が24億6,869万9,665円、歳出総額が24億6,770万333円ということで、賛成多数で認定されました。

以上です。

○議長（浅田晃弘） ただいまの報告につきまして、何かございませんか。

（発言する者なし）

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、次に、日程第6、「その他」。

何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） 当局側より、何かございませんか。奥谷理事。

○総務担当理事（奥谷 明） それでは、お時間をいただきまして、私のほうから1つお願い申し上げたいと存じます。

秋の諸行事の1つでございます、防災訓練につきましてのご案内でございます。

皆さんご存じのとおり、この秋にはコロナ禍も一定落ち着いてきているということで、各種事業、イベント等も開催されると思います。もちろんまだ事業規模的には縮小したり、ご来賓の皆様方を一定絞らせていただいたりする部分はあろうかと思いますが、秋の諸行事につきましては、また各課から案内がありましたものにつきましては、ご案内を申し上げたいと思います。

そういう中で、私のほうからお願いが、今申し上げましたように、町主催の防災訓練でございます。

町の1年間の年間行事予定でも入れさせていただいておりますとおり、今年度、10月15日の日曜日、午前9時から午前中いっぱいというぐらいに思っております。

会場につきましては、住民グラウンドを中心として防災訓練を開催させていただきたいと存じます。

内容といたしましては、地震発生を想定いたしまして、近隣の地域の方々の避難訓練、また救出救助訓練、また火災を想定した訓練等を各自主防災会の皆様、また消防団や消防署、また自衛隊のご協力もいただきながら、町の総合防災訓練として実施いたしたいと考えております。

改めまして、また議員の皆様方にはご通知申し上げたいと思いますが、10月15日9時から予定しておりますので、ご参加、またご出席賜りますようよろしくお願い申し上げます。

私のほうからは以上でございます。

○議長（浅田晃弘） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、これで全員協議会を終わります。

なお、最終日の9月27日においても全員協議会を予定しており、町当局より行政諸報告等について報告願うこととしておりますので、調整方よろしくお願いしておきます。

本日は誠に苦勞さまでございました。

閉 会 午前11時47分

宇治田原町議会全員協議会規程第8条の規定によりここに署名する。

議 長 浅 田 晃 弘